

New Sports Power ⑧

(ビーチで生まれた新競技)

文/小崎仁久

サップヨガ SUP YOGA

水面を渡る風を五感で触れて楽しんでほしい



上:協会公認インストラクター・来夏さんのレッスン
下:日本サップヨガ協会理事長を務める田中律子氏

スタンドアップパドルボード（SUP）とは、浮力の高いボードに乗り、パドルで漕ぐハワイ発祥のスポーツ。そのボードを海や湖、プールに浮かべ、その上でヨガを行うのがSUPヨガだ。

今世紀に入りSUPの人気が上がるのに合わせ、レジャーシーンやフィットネスの融合形態であるSUPヨガも、全世界へ爆発的に広がった。日本にも輸入される。スタイリッシュさも受け、すぐに女性の心を掴んでいる。日本サップヨガ協会の田中律子理事長はその魅力を、体幹が鍛えられますし、心が解放されるのも大層である。



平磯海岸では、気軽に磯遊びが楽しめる



全国でも豊富な漁獲高を誇るひたちなか。ここにきたらぜひ味わってほしいのは、那珂湊で水揚げされた魚介類をふんだんに盛りつけた海鮮丼です。鮮度抜群の海の幸を一度に堪能することができ、新鮮な名産といわれる「那珂湊おさかな市場」では、旬の魚を気軽に買える物でも、隣接のレストランで海鮮丼を味わえます。



子どもたちの人気を集めたストラックアウト

「参加団体の声」 一般社団法人日本フライングディスク協会は5月3日（祝）木、朝10時から15時まで体験会を行った。子どもから大人までおよそ60名が参加。午前中は天候の影響を受けましたが、午後からは人が流れ、参加者が増えてきて、子どもたちはストラックアウトに夢中でした。大人の方はキャッチアンドスローに興味を持たれた方が多く感じました。今後、もっと集客を増やすためにデモンストレーションの時間を設けてアナウンスしていただくなど工夫も残りました。今後には活かせるようにしたいと思っています。



災害時の引手がついた車いす「linkup」ビーチフラッグスを行う人

「うちに来て！」
おらが街のビーチ自慢
～ここはいいとこ、一度はおいで～

茨城県中部に位置する工業と水産業が発展した街です。約13kmにわたる海岸線には、阿字ヶ浦海水浴場、平磯海水浴場、姉の懐マリンブルーなど、人気のビーチが連なります。阿字ヶ浦海水浴場は、国営ひたち海浜公園や大型商業施設が隣接し、「大観光エリア」になっています。平磯の海に浮かぶ自然の力で、水を守る姉の懐マリンブルー



上:ステージ前で行ったモーニングヨガにはたくさんの参加者が見られた
左:パラリンピックの根木慎志さんと一緒に車いすバスケットボール体験



上:4年ぶりの開催となったビーチサッカー。右:ビーチバレーボールスクールの浅尾美和さんが参加。下:東京五輪トライアスロン会場の設置のため、2019年から工事に入り、「お台場ハーバープラン」として生まれ変わるお台場ビーチ



JAPAN BEACH GAMES Festival 2018



全競技の代表者が集まった開会式の模様

ビーチゲームズ日本招致プロジェクトとして「ジャパンビーチゲームズフェスティバル2018」が5月3日（祝）木から5日（祝）土の3日間、お台場ビーチで開催された。4回目を迎えた今年のテーマは「14競技のビーチスポーツの体験」と心のバリアフリーをモットーとしたパラスポーツ体験を主軸に、はだしのテーマパークを演出。3日間で4万人を動員し、およそ25000人がビーチスポーツ体験を楽しんだ。今年初開催となったのは、「ビーチ雪合戦」「ビーチヨガ」「車いすバスケットボール」だ。誰もが集う友達になれるビーチというコンセプトを打ち出した実行委員の根木慎志氏を中心に、車いす競技者でもビーチを楽しむ競技を展開。災害時の引手がついた車いす「linkup」でビーチフラッグス、ス、ビーチテニス、ビーチのそばで車いすバスケットボールやポチャックの体験会を行った。また、新たな試みとなったのは、各競技から代表選手を選出して開催された、オールスタービーチフラッグス&ビーチダンス。各競技の看板選手たちが、日頃から鍛え上げた身体を躍動させ、ビーチを強固のものとし、盛り上がりを見せた。ビーチダンスは原口翔太郎選手（ビーチフラッグス）、ビーチフラッグス大会は猪爪賢史選手（ビーチフラッグス）がそれぞれ優勝し賞金を手にした。

サハラ砂漠

アフリカ大陸北部

砂漠に目を移すと、きめ細やかなピロロドのよう、そんな表現がピッタリとくる。気候と少雨と風が生み出した賜物だろう。そうと想像されているだけで、サハラ砂漠のイメージが湧き出てくる。久しぶりにソムリエピッツが震える砂と出会えたことに感謝したい。

砂ソムリエ
朝日健太郎が目利きする。元プロビーチバレーボールプレイヤー！朝日健太郎が各地の砂を踏んで砂を比べ、ビーチスポーツにふさわしい砂を選ぶ「砂ソムリエ」、足跡の数で評価する。足跡3つが最高。さて連載第10回で取り上げるのは、モロッコに広がるサハラ砂漠の砂。